

日本共産党を 伸ばして 「消費税増税」「国保料を ぐんと引き下げよう」 「止めさせられる」 「今からでも」 「ぐんと」

倉林議員、元気いっぱい訴え!

景気が悪化し、暮らしの悲鳴が上がる中、倉林明子議員は「選挙での国民の審判で、消費税増税をストップ。日本共産党の躍進で、消費税増税とともに安倍政権にサヨナラを」「高すぎて払えない国保料。公費1兆円投入でぐんと引き下げよう」と訴え。――各分野の切実な願いの実現へ、京都でも、国会でも駆け巡っています。



3・24 倉林明子と街頭で 「国会パブリック ビューイング」!



参院予算委員会の質疑を街頭で上映しながら
倉林議員が解説。道行く人もくぎ付けに。



「安倍さんが何度も
同じ説明を繰り返しています」

「結局、答えられないんですね〜」



「わあ〜、私の質問したことが
スターウォーズのように」

「これホシマすごいね」



国会で 医療・介護の充実を

「来年度予算へ必ず反映して下さい」「子どもの貧困の解決はまったなしの課題です」――子育て中の若いママたち、新婦人が中心に取り組んだ税金、福祉、教育の要求署名46万7857筆を井上さとし参院議員と受け取りました。



全労連・中央社保協・民医連の皆さんが取り組まれた介護保険制度の抜本改善、介護職員の低賃金の解決、労働条件改善の署名を受け取りました。この解決も待ったなしの課題です!



3・10
バイバイ
原発
きょうと集会

「原発なくせ」で 本気の野党共闘を!

「私は福島県出身ですので、東日本大震災の時の映像を、ドキドキしながら見ていました」と切り出した倉林議員。「原発は絶対になくさないといけない」と国会内外でたたかってきました。そして今、『原発ゼロ法案を審議すべき』と野党が結束して迫っています」と報告。

「それでも再稼働に固執するのが安倍政権。原発ゼロにうんと言わないようなら、安倍政権を倒すしかありません」と力をこめました。



民青同盟の青年と意見交流

学費、奨学金、青年の働き方などとあわせ、にんげん・倉林に迫る質問も出ました。



青年

倉林さんは「議員団の駆け込み寺」?

選挙で議席が増え、若い議員も多くなりました。そこで週一回の会議を持ち、家族のことや悩みなど、何でも言いあえる関係を作ってきました。私も、若い議員さんと一緒に成長するにはどうしたらいいか考えています。



青年

国会議員6年間で驚いたことは?

安倍さんだね。平気でウソをつくし、憲法を変えるって言う。上から目線で答える麻生さんも。その人間性に驚き。こういう人もいるんだと。



こんにちは 倉林明子 です

2019年4月1日号



発行：日本共産党京都府委員会
2019年4月1日号 〒604-8383
京都市中京区西ノ京小堀町2-4
電話：075-354-6771

日本共産党京都府委員会は、上記の見解を発表しました。

倉林明子



高齢者の生活「老後破産状態、が増大

「減らない年金、頼れる年金へ」

倉林議員が 安倍首相に要求

3月14日の参院予算委員会。倉林明子議員は、低い年金や貧困で苦しむ高齢者の実情を示し、「減らない年金、頼れる年金」となる最低保障年金制度を作るよう安倍首相に迫りました。



「年金自動引き下げ」 方式やめよ

生活保護を受給する高齢単身世帯が4年で2割増加し約14万世帯となり、無年金・低年金者が1200万人を超える事態を告発した倉林議員。「老後破産状態か、その予備軍というべき高齢者が増大している。年金だけでは暮らせない高齢者が増えているのではないかと安倍首相の認識をたどしました。

首相はまともに答えられず、「年金制度を確かなものにする」と抽象的な答弁に終始。倉林議員は、消費者物価指数が昨年1%上がっているのに、2019年度の年金受給額が0.1%しか増えない。この根本に、年金支給率の伸びを低く抑える「マクロ経済スライド」制度＝「年金の自動引き下げ装置」があると批判しました。

最低保障年金制度の導入を

さらに、倉林議員は、就職氷河期に社会人になった世代が高齢者になる2040年前後、低年金高齢者が爆発的に増える推計があると紹介。安倍政権が現役世代の雇用・賃金破壊を続けるなら、将来、「膨大な数の無年金・低年金者を生み、年金制度に大穴があく」と指摘し、年金削減が続く高齢者、また、将来世代も安心できる最低保障年金制度導入をと求めました。

年金・ 扶養親族等 申告書

「未提出でも税率5%」

▶▶▶ 年金受給者の不利益を解決

倉林議員は、所得税法では、老齢年金受給者が扶養親族等申告書を提出しなかった場合、税率が2倍の10%となり、本人分の公的年金等控除・基礎控除までも適用されなくなることから、提出した場合と比べ10倍以上の税金額になるケースもあることを追及し、繰り返し改善を求めてきました。結果、2019年度税制改正大綱で改善策が盛り込まれ、「2020年度から未提出でも税率は5%となる」ことを厚生労働大臣に言明させました。倉林議員は「今年分についても、年金受給者に不利益がないよう確実に給付を」と求めました。

自衛隊への 宛名シール

「強制できない」(防衛相)と認める

●参院外交防衛委員会で、井上さとし議員の追及に

3月12日の参院外交防衛委員会。井上議員は、自衛隊の自治体への情報提供依頼について、「あくまでも依頼」（2003年、石破元防衛庁長官）、「可能な範囲での協力をお願い」（2015年、中谷元防衛大臣）との答弁について、「この答弁にかわりはないですね」と追及。岩屋防衛大臣は、「丁寧をお願いさせていただいている」と答えました。

この答弁を受け、翌日の参院本会議で山下芳生議員が再度たどしたのに対し、岩屋大臣は「（情報提供は）強制できない」「（これまでと）答弁の趣旨は変わらない」としました。

